

インタビュー 地区社協影山会長に聞く

Q 錦ヶ丘地区社協はどんな組織で、どんな活動をしているのでしょうか？

A 錦ヶ丘地区社協は地域住民が主体となり、錦ヶ丘小学校の校区の範囲で組織されています。地区社協では、地域の福祉課題の解決や福祉のまちづくりの実現のために、一人暮らし高齢者世帯、日中独居高齢者世帯、高齢夫婦世帯、障害者のいる世帯、子供のいる世帯等を対象に安否確認活動、調査活動、住民交流のイベント開催、民生委員さんや連合自治会の皆さんと協力協働して地域内の福祉活動の推進などを行っています。



錦ヶ丘地区社協 影山明彦会長(左)
錦ヶ丘コミュニティセンターにて

Q 錦ヶ丘地区らしい特筆する活動は何でしょうか？

A やはりちょこボラの活動でしょうか。このボランティア活動は、3年前、一人の中学生が公園に落ちていたタバコの吸殻をみて「自分の住む街をもっときれいにしたい」という自発的なボランティア精神から始まり、大人の力を借りずに役所を訪ねたり、色々動き回って持ち上げてくれました。我々大人はサポートをするだけです。本当に頭が下がります。この活動は定着していますが、もっともっと広がっていくことを願っています。そのために私たち錦ヶ丘社協はちょこボラへのサポートを惜しみません。

Q 今年度、錦ヶ丘地区社協では10月以降の下期にどんな活動を予定していますか？

A 錦ヶ丘は若い世代の多い街ですが高齢者も増加しており、高齢者がいつまでも錦ヶ丘で楽しく暮らしていけるような活動への支援、ご近所さんと交流できるようなイベントを考えています。また子供食堂やフードバンクへの取り組みも行っていきたいと考えています。コロナ禍で中止となっていた『一人暮らし交流会』を今年度は開催したいと思っています。

7月27日 錦ヶ丘夏祭りで社協ブースを出展しました

5年ぶりに開催された錦ヶ丘夏祭りに、錦ヶ丘地区社会福祉協議会は社協ブース（テント）を出展しました。日頃の活動の展示や募金活動の他、小中学生を対象とした無料の輪投げコーナーを開設しました。またコミュニティセンター内では研修室で、日赤活動や赤い羽根募金の使い道についてビデオで紹介しました。日赤募金では14,166円の募金をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



輪投げ
コーナー

錦ヶ丘地区社協は住民の方々の健康の維持・向上を目指す活動（3B体操、高齢者の会話サロンたまりば、健康麻雀教室）にも取り組んでいます。

ちょこボラ活動 錦ヶ丘の小中高生がんばっています

3年前から活動している錦ヶ丘の子どもたちによる『ちょこボラ』、今年も小中高生18名が日頃からボランティア活動に汗を流しています。

錦ヶ丘地区内の花壇の花植え、除草作業、団地公園内のゴミ拾い作業などを頑張っています。

夏祭りでは、ちょこボラメンバーが無料の輪投げ

コーナーを運営して、小中学生を楽しませてくれました。10月以降も花壇の整備や公園の清掃活動などを行っていきます。

ちょこボラ活動に興味があり、やってみたい小中高生は、下記までお問い合わせください。

地区社協役員 立花



フラスタ花壇の苗植え



公園の清掃作業

防災教室がありました 8月31日

日赤奨励事業として錦ヶ丘コミセンで～救護チャレンジ～と題して防災教室がありました。連合自治会防災部に主導していただき、今回は住民26名が参加しました。日赤の講師3名から負傷者への応急処置法や三角巾の使い方について、詳しく実技講習を受けました。



3B体操 体験しませんか？

ボールとベルとベルターを使い、生活習慣病を予防し身体のバランス機能と筋力をアップさせる3B体操を体験してみませんか？日本3B体操協会公認指導員の熊坂良枝さんと石井佑子さんが毎週月曜日、錦ヶ丘コミュニティセンターで教えています。まずは見学に、直接コミセンへ来てみてください。

第1・3月曜日 13:00～14:30 **いつでも見学**

第2・4月曜日 10:00～11:30 **オーケーです**

錦ヶ丘社協 今後6か月間の活動

(10月6日、19日、26日) ちょこボラ活動

(10月27日) 宮城地区祭り 運営に協力

(11月2日、9日、23日) ちょこボラ活動

(12月8日) まちづくり活動団体交流会

(毎週月曜日) 3B体操 会場：錦ヶ丘コミセン

(毎週日曜日) 健康麻雀教室 会場：錦ヶ丘コミセン

ゴミ集積所 5丁目・8丁目の工夫

各自治会ともゴミ集積所を荒らすカラス・ネコに頭を悩ませています。錦ヶ丘5丁目自治会（鳴海自治会長）では、7年ほど前から集積所のサイズに合わせた扉付きの金属製ダストボックスを導入し、効果を上げているそうです。また、8丁目自治会（安野自治会長）では、その対策として今年4月から『ゴミ収集日の前夜に緑色のゴミネットを掛けておく』という方法で効果を上げているそうです。なぜかという、当日の朝、最初にゴミを出す人が緑色のネットを掛け忘れることが多く、そのゴミ袋をカラス・ネコが喰い散らかすのだそうです。前夜にゴミネットを掛けておく、最初にゴミを出す人がネットの掛け忘れをしないのだそうです。

目からウロコの対策ですね。



「みんなの農園」の活動

アーリー迎賓館の西側に『みんなの農園』があることをご存じですか。『みんなの農園』の代表色川善信さん（8丁目）に訊いてみました。

Q みんなの農園ができて何年になりますか？

A 2009年からです。今年で16年目になります。

Q 会員何人で何種類の作物を作っていますか？

A 会員数は24で、47種類以上を作っています。

Q 始めたころと現在の違いはなんですか？

A 畑の土が良くなりました。荒れ地で石がゴロゴロあったのを取り除き、土を良くしました。ここ7～8年は夏の暑さが厳しいです。地球温暖化ですね。9年前からは錦ヶ丘小学校の野菜栽培にもみんなの農園が協力しています。



サツマイモを掘る小学生たち
2023年
10月